

NO.5 ほめ育通信

ほめ育って叱っちゃダメなの？

ほめ育って褒めろ褒めろっていうけど、叱っちゃダメなの？
そんな疑問がそろそろ出てくるころではないでしょうか。

叱ることも必要です。ダメなことはだめと叱ることは正しいことです。ただし、怒ることは極力減らした方が良くと思います。少し専門的な話になりますが、制限コードと精密コードというのがあります。

制限コードとは、【怒る】に類似します。

母「しっかりつかまってなさいよ！」

子「なんで？」

母「いいから、しっかりつかまってなさい！」

子「どうして？」

母「しっかりつかまってなさいって言っているでしょ！わかんないの？」

の様に、子どもの「なんで？」に答えず、行動を制限する言い回し。

これだと、子どもに考える力がつかず、応用の利かない子（指示待ち・考えられない）になってしまいます。

精密コードとは、【叱る】に類似します。

母「危ないから、しっかりつかまるようにしなさい！」

子「なんで？」

母「このバスはよく急に曲がるの。だから、つかまってないと倒れちゃうわよ」

子「つかまっていれば、倒れないの？」

母「つかまっていれば、大丈夫よ」

子「わかった！」

の様に、子どもの「なぜ？」に答えてあげていることがポイントです。この積み重ねで、子どもなりに解釈し、必要性を考えられるようになっていきます。

子どもの発達段階や年齢に合わせて、その子どもがわかりやすい理由を伝えていく必要があります。

色々と主張をしますがそこに主体性はあまりありません。したい、やりたいと言っている間に、変なこだわりがでてきてしまいます。こだわりや自我の芽生えによる主張は、脳の発達段階によって生まれるものなので、必要以上に向き合わず、他の事に気をそらしながら対応するのが良いと思います。

10月の「ありがとう」の木



怒ると叱るの違い

左記の例文からも読み取れるように心の状態ではないでしょうか。

怒る＝負の感情をぶつけること

叱る＝心が波立っていない状態で、教諭すること。

大人も人間なのでついつい怒ってしまう事もあると思いますが、怒ると子どもは怒鳴り手の言葉ではなく感情を気にします。カッとなる気持ちを抑え、躰てあげてください。

コラム

魔の2歳といわれるくらい2歳児は難しいですね。言葉を覚え自己主張をしてくるようになりますが、まだ、感情をコントロールしたり、十分な理解ができるわけではない、特別な時期です。とにかく人のマネをしたい時期で、